



グループごとに割り当てられたスライドを編集していく



話し合いながら、ストレスがかかる箇所を考える。

### 活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習

思考を深める学習

協働学習

発表や話し合い

協働での意見整理

### 活用した機器等

教員用Chromebook  
教員用PC  
学習者用Chromebook  
プロジェクター  
スクリーン

### 活用したアプリ等

Google Classroom  
Google スライド  
PowerPoint

### 学習のねらい

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より英語歌詞の『民衆の歌』を用いてグループワークを行う。英語におけるsentence stress (文の強勢)と、音楽におけるフレージングとの関係性を理解した上で歌唱表現を創意工夫する。

### 学習の流れ

導入

- ①発声練習を行う。
- ②『民衆の歌』の英語歌詞の発音を確認する。
- ③英語の発音に注意しながら『民衆の歌』を全員で歌う。



興味や関心を高める

展開

- ④グループに分かれ、3人の英語ネイティブ教員の音読を参考に、歌詞の単語や音節にストレスがかかる箇所を協働的に考えマーカーで示す。
- ⑤歌手の歌い方を参考に、歌詞の単語や音節にストレスがかかる箇所を協働的に考えマーカーで示す。



協働して課題解決する

まとめ

- ⑥各グループが完成させたスライドをスクリーンに投影し全体で共有しながら、音読時と歌唱時のストレス箇所の共通点を見つける。
- ⑦さらに日本語歌詞で歌った場合のストレス箇所を考え、英語歌詞で歌った場合との相違点を探る。
- ⑧以上をふまえ、英語歌詞と音楽のフレージングとの関わり、拍節感を意識しながら再び『民衆の歌』を全員で歌う。



振り返って次へつなげる

### ここでICTを活用！

・教員用Chromebookであらかじめ作成しておいた説明用スライドを示し、スクリーンに投影した。また、そのスライドをGoogle Classroomにアップロードし、学習者と共有した。スライドには、英語ネイティブ教員の音読など音声情報を添付した。

・グループワーク中もスライド編集の様子をリアルタイムで確認できるよう、教員用Chromebookをスクリーンに投影した。

・プロジェクターに教員用PCと教員用Chromebookの両方をつなぎ、学習者がまとめたスライドと解説用のPowerPointを適宜、切り替えられるようにした。

### 活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

・学習者用Chromebookを活用することで、グループワーク時にスライドの編集作業をグループ内の誰とでも編集することができた。また、学習者は、一人ひとりが主体的かつ協働的に活動することができた。スライド編集作業をスクリーンに投影することにより、教員はリアルタイムでグループワークの作業内容を把握できた。また、学習者は他グループの様子も確認しながら学びを深めることができた。

・教員用端末を2台同時にプロジェクターに接続することで、グループワークの成果物と解説用のスライドの切り替えが容易になり、必要な場面で適宜それらを効果的に提示できた。

グループワークの成果物は授業後も確認することができ、振り返りにもつながった。

スライドを用いたことで、音声情報の添付や楽譜の提示が容易になり、視覚と聴覚情報を同時に素早く受容可能になった。